

人も設備もそろった中小企業は、現在多くの買い手から注目を集めている。他方で後継者問題を抱え、会社整理に頭を悩ませる経営者は多い。両社のM&A仲立ちによって、経営者のハッピーリタイアを手伝うのがHRコンサルティングの廣野嘉代子代表だ。(取材／平野かおり)



廣野嘉代子代表

大事な会社を手放す人に 報いるハッピーリタイアを

なでしこ力

「人生は出会いと直感力」。そう語るのは、かつて全国に支店を置く大企業の創業者でありトップだった廣野嘉代子さん。事業継承に悩む中小企業のM&A支援を行うHRコンサルティングの代表取締役社長だ。廣野さんは「面白いですよ、人生って」とほほ笑む。

もともと「街づくり店づくり」を手掛ける経営コンサルティングとして独立し、大型店問題の対策として商業活性化事業の講演などを

行っていた廣野さん。八年間で全国約三五〇カ所を回ったという。

「北海道名寄市の店舗を回る中で喜信堂のハスカップパイが全国からインターネット予約で人気だと知りました。それがきっかけとなって、帰りの飛行機の中で、これからはネットがなければ生き残れない時代だと直感しました」

廣野さんは即座に当時二五万円程だったPCを購入。コンピューター会社に勤めていた姪とその夫が

ら毎週欠かさずレッスンを受けるかたわら、PCとプロジェクトを持ってIT革命について全国で講演をして回ったという。講演は反響を呼び、講演先からHPを作って欲しいという依頼が来るようになったとき、共に起業しようと促したのは廣野さんの姪らだった。

「一度は給料の保障もできず、とてもできないと断りましたが、熱意に押されて起業しました」

たった五人でスタートしたアビリティコンサルティングはIT業界の宿泊部門トップに躍り出た。

「初年度に七〇〇万円の赤字を出し、経営コンサルティングでありながら自分の会社も経営できないのではないかと必死になりました。そんなとき、奥飛騨温泉郷にある旅館のHPを制作したところ、予約が一気に増加しました。これは絶対に伸びると直感しました」

インターネットを使えば旅館の部屋や料理が瞬時にわかる。廣野さんはすぐに宿泊業界にシフト。楽天市場に先駆けて着手した宿泊業でのHP制作は大きな話題とな